

授業名	データサイエンスⅤ 文学部(一部) / 臨床心理学科/人間科学学科	学期	2026年春学期
担当者			
テーマ	「問題解決型ミッション形式」にてまいばすけっと(株)の抱える問題の解決をめざす		
授業の目的	<p>データ分析から価値創造ができる社会の課題解決力の習得を目指す。  データサイエンスⅥ終了時には様々なデータからの統計分析や論理的な思考スキルを身に付け、課題の発見や解決、社会への価値創造につながる仮説を構築する力を習得する。</p> <p>データサイエンスⅤの目的：「問題解決型ミッション形式」にて社会の課題解決力の習得を目指す。「問題解決」とは「理想の姿」を実現するために「現実とのギャップ」を埋めることである。まいばすけっと(株)のデータを活用し、まいばすけっと(株)の抱える問題に対してどのように解決を図るのかを、データ分析から仮説を導き出し、さらには解決策の提案まで行う力を身につける。Tableauを用いた演習を通じて、計算式における条件分岐の記述や、表計算を活用したビジュアライゼーションの手法を習得する。</p>		
授業の到達目標 ・DPとの関連性	<p>「データサイエンス」は主観的な判断ではなく、データをもとに意思決定を行うデータドリブンな思考を高めて、社会の課題を解決し、価値を創造していく人材となることを意識して</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学で自ら進んで学ぶ態勢をつくることできる（自分事として問いを立てる力【自灯明】）</li> <li>2. データサイエンスやAIへの興味関心をもって学び、倫理含めて正しく理解を深めることできる（物事の本質を見極める力【慈悲】）</li> <li>3. 情報リテラシーと統計の基礎を学びながら、論理的思考力を高め、さらにはExcelやTableauを活用し、データの整理・分析をすることで課題解決につながる課題抽出を行うことできる（根拠にもとづいて思考する力【中道】）</li> <li>4. 新しいことにも意欲的に取り組み、困難なことにも努力し、新たな価値創造に挑戦することできる（新たな価値を創造する力【共生】）</li> <li>5. 他者の考えを傾聴した上で、自らの考えを論理的にまとめて発表することできると同時に、他者と協働して活動するとともに、リーダーシップを発揮して、他者との共生を目指すことできる（他者対話し、協働する力【共生】）</li> </ol>		
DP参照ページ	<a href="https://www.tais.ac.jp/faculty/tais_policy/">https://www.tais.ac.jp/faculty/tais_policy/</a>		
授業形態	講義、個人ワーク、グループワーク ※教員・チューター・SAが、講義・ワークをサポートする。		
テキスト	特に指定なし		
参考文献	<p>授業で扱う内容よりさらに学びを深めたい学生には、以下の資料を勧める。  松島七衣著「Tableauによる最強・最速のデータ可視化テクニック ～データ加工からダッシュボード作成まで」、SHOEISHA、発行年度2019年、3400円＋税（9784798180823）</p> <p>松島七衣著「Tableauによる最適なダッシュボードの作成と最速のデータ分析テクニック」、SHOEISHA、発行年度2020年、3400円＋税（4798184373）</p> <p>高橋威知郎著「問題解決のためのデータ分析基礎講座」、ビジネス教育出版社、発行年度2020年、2000円＋税（4828307990）</p>		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回ふり返り（リフレクション）（20%）</li> <li>・ワークシートや小課題 第1回・7回（8%）</li> <li>・小テスト 第4回（20%）</li> <li>・プレゼン評価（52%） <ul style="list-style-type: none"> <li>内訳：第3回 プレゼン用ワークブック、グラフの読み取り（10%）</li> <li>第5回 プレゼン用ワークブック、プレゼン骨子（12%）</li> <li>第6回 最終プレゼン・発表資料評価（25%）プレゼン自己評価（5%）</li> </ul> </li> </ul>		
前提科目	データサイエンスⅣ		

授業名	データサイエンスⅤ 文学部(一部) / 臨床心理学科/人間科学学科	学期	2026年春学期
授業計画	<p>第1回</p> <p>【授業】</p> <p>オリエンテーション</p> <p>授業の目的・目標、概要、授業の進め方、評価などを理解する</p> <p>社会の課題解決Ⅰ「問題解決型ミッション形式」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携先からのミッション提示と提供される「データ」について</li> <li>・問題解決型ミッションの全体の進め方/問題解決のプロセスについて</li> <li>・連携先からのデータに関する秘密保持の誓約書作成と提出</li> </ul> <p>Tableau応用⑥「計算の応用」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条件分岐の方法を習得する (IF、ELSEIFなど)</li> </ul> <p>Tableau応用⑦「表計算の応用」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セカンダリの計算を使用したビューを作成する (パレート図)</li> </ul> <p>【事前学修】</p> <p>履修要綱やガイダンスで配布した資料を読み直し、カリキュラムの全体像を理解する (2時間)</p> <p>【事後学修】</p> <p>第1回の授業内容の復習(2時間)</p>		
	<p>第2回</p> <p>【授業】</p> <p>社会の課題解決Ⅰ「問題解決型ミッション形式」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分析に必要な知識とテクニック基礎①</li> </ul> <p>連携先へのプレゼン準備 個人ワーク①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼン用ワークブックの作成 (1回目)</li> <li>・ワークブックのグラフからの読み取りの作成</li> </ul> <p>【事前学修】</p> <p>データ活用時の契約 (秘密保持契約) の復習(2時間)</p> <p>【事後学修】</p> <p>第2回の授業内容の復習 (3時間)</p>		
	<p>第3回</p> <p>【授業】</p> <p>社会の課題解決Ⅰ「問題解決型ミッション形式」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分析に必要な知識とテクニック基礎②</li> </ul> <p>連携先へのプレゼン準備 個人ワーク② &amp; ピアワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼン用ワークブックの作成と提出 (1回目)</li> <li>・ワークブックのグラフからの読み取りの作成と提出</li> </ul> <p>【事前学修】</p> <p>連携先から預かったデータについて詳細確認する (2時間)</p> <p>【事後学修】</p> <p>指定通りプレゼン用ワークブックを作成し、期日までにプレゼン①のワークブックを提出 (1回目)</p> <p>ワークブックのグラフから読み取ったことを言語化し、UR-noteに提出 (3時間)</p>		
	<p>第4回</p> <p>【授業】</p> <p>小テスト (これまでのTableauの学修内容から出題)</p> <p>社会の課題解決Ⅰ「問題解決型ミッション形式」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分析に必要な知識とテクニック基礎③</li> </ul> <p>連携先へのプレゼン準備 個人ワーク③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼン用ワークブックの作成 (2回目)</li> <li>・プレゼンの骨子作成</li> </ul> <p>【事前学修】</p> <p>プレゼン大会にむけての準備 (3時間)</p> <p>【事後学修】</p> <p>2回目の課題提出にむけて、プレゼンシートを作成する (3時間)</p>		

授業名	データサイエンスⅤ 文学部(一部) / 臨床心理学科/人間科学学科	学期	2026年春学期
	<p>第5回 【授業】 Tableau応用⑧「ストーリーの使い方」 ・ストーリーの機能の使い方を学ぶ 社会の課題解決 I「問題解決型ミッション形式」 ・分析に必要な知識とテクニック基礎④ 連携先へのプレゼン準備 個人ワーク④ &amp; ピアワーク ・プレゼン用ワークブックの作成と提出（2回目） ・プレゼンの骨子作成と提出 【事前学修】 プレゼン大会にむけての準備（2時間） 【事後学修】 指定通りプレゼン用ワークブックを作成し、期日までにプレゼン②のワークブックを提出（2回目） プレゼンの骨子を作成し、UR-noteに提出（4時間）</p>		
	<p>第6回 【授業】 プレゼン大会① 社会の課題解決 I「問題解決型ミッション形式」 まいばすけっと(株)へのプレゼン ・グループごとのプレゼンと相互評価 ・プレゼン自己評価 連携先へのプレゼン準備 個人ワーク⑤ ・プレゼン終了後のプレゼン用ワークブックの見直しと提出（最終提出） 【事前学修】 プレゼン大会にむけての準備（リハーサル）（2時間） 【事後学修】 発表後に最終プレゼン・発表資料の見直しを行った上で期日までにプレゼン最終版のワークブックを提出（3時間）</p>		
	<p>第7回 【授業】 プレゼン大会②（代表者による発表） 社会の課題解決 I「問題解決型ミッション形式」 まいばすけっと(株)へのプレゼン ・代表者によるプレゼンと質疑応答 ・連携先からの講評 / 教員からの総括 データサイエンスⅤのふり返りとまとめ 【事前学修】 データサイエンスⅤの復習（2時間） 【事後学修】 第7回の授業内容の復習(2時間)  データサイエンスⅥのシラバスを読んで授業内容に対する理解を深める（1時間）</p>		
統括的な留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7回の授業のうち4回以上出席しなければ単位取得はできない。</li> <li>・小テストの受験とと期末課題（プレゼン用ワークブック）を指定の期日までに提出しなければ単位は取得できない。</li> <li>・毎回、授業終了時に、授業のふり返り（リフレクション）を提出すること。</li> <li>・欠席した場合も授業録画を視聴して必ず課題に取り組むこと。</li> <li>・授業開始時刻の開始20分までに出席登録を完了していない学生は欠席と見なす。</li> </ul>		